

## 12:00 津和野体育館にて開会式

開会式では、島根県受入れ実行委員会から京俊輔実行委員長、及び「世界青年の船」に乗船経験のある亀井亜紀子衆議院議員よりご挨拶いただきました。また、代表青年より下森町長へギフト贈呈も行われました。



## 12:30 「考現学<sup>＊</sup>」を学ぶ

福島学院大学・地域マネジメント学科の黒石いずみ教授に、「考現学」についてオンライン上で説明していただきました。13:00 から行われたフィールドワークでは、教えていただいた考現学に基づいて、「今の津和野町を記録する」こととしました。



## 13:00 フィールドワーク

津和野城下町を①永明寺方面、②殿町・本町通り方面、③太鼓谷稲成神社方面の3つのエリアに分け、町歩きを行いました。地元の高中生や町外の大学生、地域住民の皆さまがエリア内を案内してくださいました。青年たちは、町歩きの中で発見したことを絵や写真に記録しました。



## 15:00 振り返りと動画視聴

町歩き後、青年たちは絵や写真を共有しました。また、都市から津和野町に移住した津和野高校生や卒業生が町で過ごす中で感じたことを記録した動画を視聴し、「日本の課題」や「自国の課題」、「豊かさ」等を見つめました。津和野町でのプログラムは、16:00 に終了しました。



＊考現学とは、身近な人々の生活や営みを観察し、身体的に理解することで、地域社会や文化について考えを深めることです。

# Ship for World Youth Program 2025 令和6年度「世界青年の船」事業



### 【事業概要】

内閣府青年国際交流事業の一つである「世界青年の船」事業では、世界各地の青年（18歳～30歳）が集い、ディスカッションや文化交流等を通じて、次世代グローバル・リーダーとなる青年を育成するとともに、グローバルな人的ネットワークの構築を目的としています。

令和7年2月8日（土）～12日（水）の5日間、島根県内では地域実践活動が行われ、津和野町はその初日の受け入れとなりました。町は、一般社団法人津和野まちとぶんか創造センター（TMC）と協力し、プログラムを企画しました。青年約190名が参加した、事業の様子をお届けします。

## 10:30 「つわの太鼓」を鑑賞

当日は大雪となりましたが、寒さを吹き飛ばすような迫力あるパフォーマンスを披露していただきました。



## 11:00 「沙羅の木」にて昼食

沙羅の木では、宗教・ヴィーガン・アレルギー等に対応した「うずめ飯（郷土料理）」を提供していただきました。

